



令和7年度 都城歴史資料館企画展

都城跡

～市名の由来となった中世城郭～

令和
7年 5.3(土)～7.6(日)

会場

都城歴史資料館

宮崎県都城市都島町803番地 TEL: 0986-25-8011

開館時間

9:30～17:00 (入館は16:30まで)

休館日

毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)

入館料

大人220円(160円)

高校生160円(110円)

小・中学生110円(50円)

()内は20名以上の団体料金 ・毎週土曜日は小・中・高校生は無料 ・毎月第3日曜日は「家族の日」で高校生以下の子どもがいる家庭や妊娠中の人がある家庭全員無料 ・障がい者手帖を持っている人(介護者を含む)は無料 ・「子育て応援カード」を提示した高校生以下の子どもがいる家庭や妊娠中の人がある家庭全員無料



都城跡企画展HP



このポスターは、令和7年度国宝重要文化財等保存・活用事業補助金を受けて作成しました。

竹之下都城御城図：都城島津邸所蔵

ごあいさつ

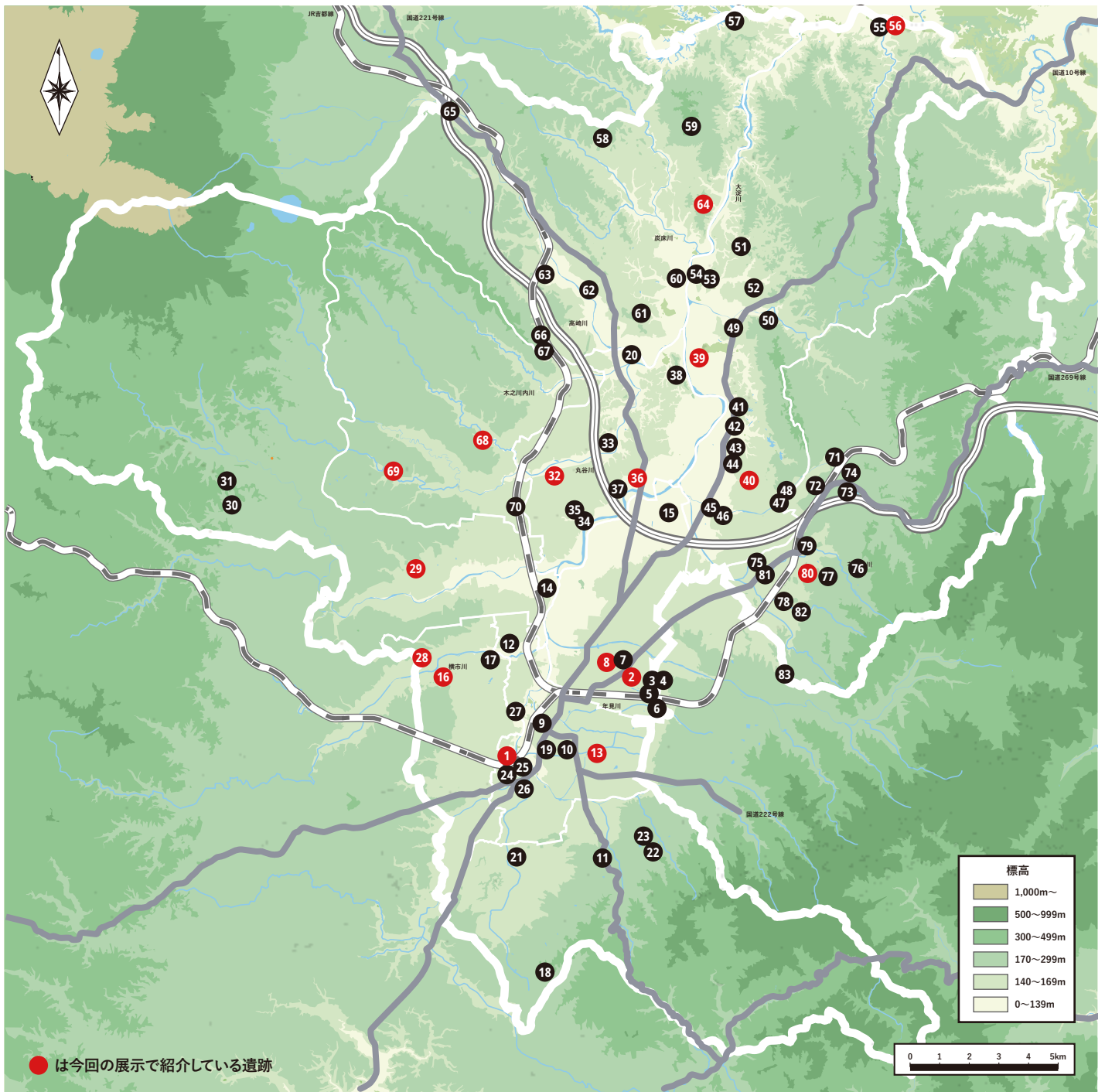
中世城郭「都城」は、
室町時代初期の永和元（1375）年に
2代北郷義久により築かれたと伝わるお城で、
今年で築城650年を迎えます。

都島にあるお城ということから
「みやこのじょう」と呼ばれ、
この城名が現在の市名の由来となっています。

今回の企画展では、
これまでの発掘調査成果を交えて、
「都城」や都城市内に残る
色々なお城について紹介します。

都城歴史資料館 館長 徳永由佳

都城盆地にある中世城館



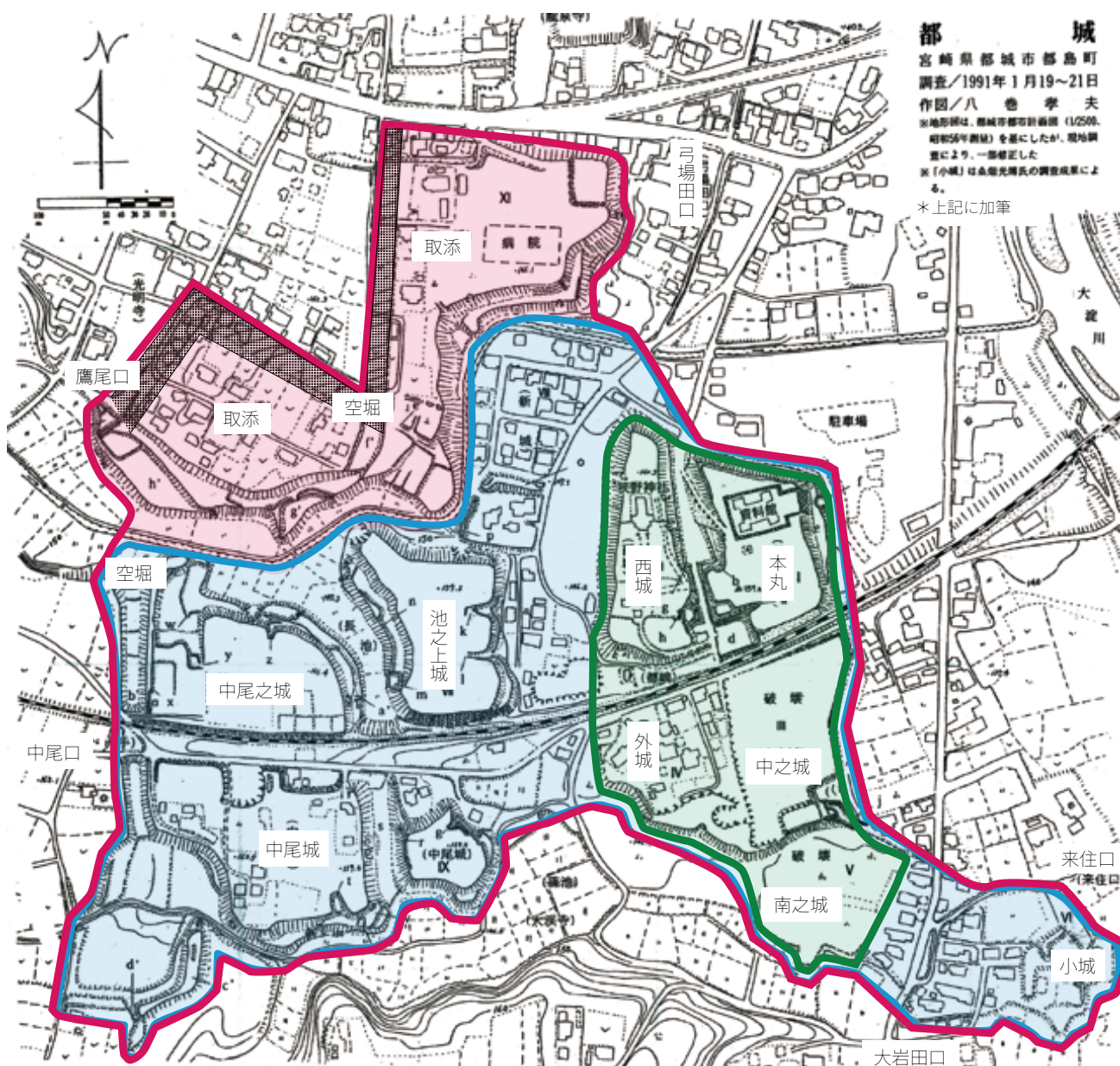
- | | | | | |
|----------------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|
| 1 都之城(鶴丸城)跡 | 18. 天ヶ峰陣跡 | 35. 児玉屋敷跡(神竹遺跡) | 52. 中丸跡 | 69. 薩摩迫館跡 |
| 2. 郡元西原遺跡 | 19. 姫木城跡 | 36. 志和池城跡 | 53. 須田木城(古城)跡 | 70. 北屋敷・内堀跡 |
| 3. 祝吉御所跡 | 20. 岩満屋敷跡 | 37. 森田陣跡 | 54. 下ノ城跡 | 71. 館ヶ野・佐渡屋敷 |
| 4. 祝吉第3遺跡 | 21. 梅北城跡 | 38. 茶臼ヶ陣・鳥越陣 | 55. 井之城跡 | 72. 田原陣 |
| 5. 天神原遺跡 | 22. 六ヶ村城(六ヶ城)跡 | 39. 石山城跡 | 56. 平八重城跡 | 73. 豊後陣(古砦) |
| 6. 樺山・郡元地区遺跡 | 23. 池平城跡 | 40. 高城(月山日和城)跡 | 57. 笛ヶ水城跡 | 74. 山之口城(亀鶴三石城)跡 |
| 7. 久玉遺跡 | 24. 瀬戸ノ上遺跡 | 41. 三俣(石山)城 | 58. 城の岡 | 75. 京陣原 |
| 8. 松原地区遺跡 | 25. 龍峯寺城跡 | 42. 祢壇陣跡 | 59. すかしの城跡 | 76. 雀ヶ城(城ノ平)跡 |
| 9. 宮丸蔵人館跡 | 26. 大岩田城跡 | 43. 肥田木城跡 | 60. 柳ノ城跡 | 77. 俵ヶ城跡 |
| 10. 秋永屋敷跡 | 27. ニタ元遺跡 | 44. 雀ヶ城跡 | 61. 徳ノ城跡 | 78. 尼ヶ城跡 |
| 11. 堀之内御所跡 | 28. 新宮城跡 | 45. 小山城跡 | 62. 城山跡 | 79. 王子城跡 |
| 12. 蒲生屋敷跡(松元遺跡) | 29. 安永城跡 | 46. 楡井陣跡 | 63. 浮城丘 | 80. 松尾城(三俣城)跡 |
| 13. 上ノ園第2遺跡 | 30. 胡麻ヶ野城跡 | 47. 將軍山 | 64. 木場城跡 | 81. 鶉ヶ城(古城)跡 |
| 14. 馬籠陣跡比定地(内場遺跡) | 31. 陣ヶ岡山 | 48. 大久保陣 | 65. 谷川城(高崎城) | 82. 七浦城跡 |
| 15. 高木屋敷跡比定地(高木赤坂遺跡) | 32. 上大五郎遺跡 | 49. 本城跡 | 66. 東霧島の御陣跡 | 83. 梶山城跡 |
| 16. 加治屋B遺跡 | 33. 丸谷(某)屋敷跡比定地 | 50. 小善城跡 | 67. 陣の端(陣の鼻)砦跡 | |
| 17. 平田遺跡 | 34. 野々美谷城跡 | 51. 山之城跡 | 68. 山田城跡 | |

城域の変遷

「都城」は、1375年に築城されてから1615年に廃城を迎えるまでの間、城域を広げ続けています。

各曲輪の特徴から、築城期・戦国期・廃城期の3時期に分けることができます。

都城縄張図(平面)



築城期の城域
(14世紀後半～15世紀代)

戦国期の城域
(16世紀代)

廃城期の城域
(16世紀末～17世紀)

ほん まる 本丸跡

本丸では、4度にわたり発掘調査が行われています。現在は都城歴史資料館が建っている場所にあたります。本丸は城主の居所^{いどころ}で、政治の中枢機関^{ちゅうすう きかん}が置かれた場所と考えられます。

発掘調査では、主殿^{しゅでん}とみられる建物跡や、物見やぐら跡、虎口^{こぐち}（城の出入口）などが見つかりました。



空中写真：本丸跡1～4次調査区 合成写真



本丸跡の石積みの階段（虎口付近）



本丸跡の地鎮・鎮壇ピットから出土した輪宝墨書土器

にし じょう 西城跡

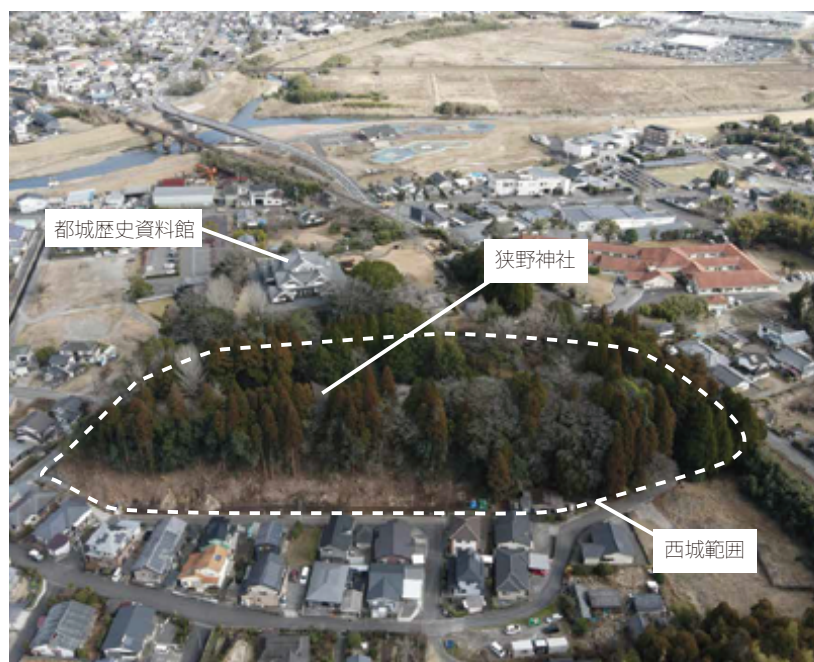
本丸の西側にある^{くるわ}曲輪で、本丸との間には^{からぼり}空堀があります。現在の狭野神社が建っている場所にあたります。絵図には「^{すけひさこう}相久公御住城」と描かれており、10代時久の嫡男^{ちやくなん}相久の^{いどころ}居所があったと推定されます。

神社の南側で行った発掘調査では、四角に掘られたお墓が見つかり、中から鉄の短刀と古銭が見つかりました。また、四角くとても深い穴も見つかり、^{いど}井戸の可能性もあります。

また、^{くるわ}曲輪西側の斜面で宮崎県埋蔵文化財センターが行った調査では、16世紀代の^{とうじき}陶磁器や^{はじき}土師器が見つかりました。



土坑(墓)と床面から出土した短刀



空中写真：曲輪西側の調査(宮崎県埋蔵文化財センター所蔵に一部加筆)



トレンチ土層 当時の斜面の様子(宮崎県埋蔵文化財センター所蔵)

なかのじょう 中之城跡

中之城は、本丸の南側にある曲輪くるわです。現在はほとんど削平さくへいされています。絵図には3人の名が描かれており、居住きょじゅうしていた家臣かしんの名であると推定すいていされます。

発掘調査では、幅約4mのL字に折れる道路跡や、屋敷へ入るための門跡、井戸などが見つかりました。門跡は道路跡沿いに2箇所あり、どちらも道路から階段状に登り口がつけられていました。



井戸(真上から)



中之城石積



中之城 門跡とL字型道路跡 検出状況

いけ の うえ じょう 池之上城跡

池之上城は、^{にしじょう なか お の じょう}西城と中尾之城の間にある^{くる わ}曲輪です。名称は曲輪の西側にある「^{ながいけ}長池」という水堀が由来となっていますと考えられます。一部が破壊を受けていますが、その他は当時の姿がよく残っています。絵図には「^{すけひさ}相久公ノ御姉」や家臣と考えられる名が描かれています。

発掘調査では、2箇所^{こぐち}の虎口や道路跡などが見つかりました。道路の付け替えによる3回以上の区画変更が見受けられ、柱の跡は1000箇所以上見つかったことから、区画変更に伴い建物配置も変化したと考えられます。



池之上虎口



池之上全体真上



池之上さし銭

なか お の じょう 中尾之城跡

中尾之城は「都城」城域最西端にある曲輪くるわです。西側に大規模な空堀からぼりを形成し、曲輪を独立させています。

発掘調査では、深さ約6mの大規模な空堀や、絵図にも描かれている幅約5mの道路などが見つかりました。また、空堀に面する土塁は、土を盛って造っていることもわかりました。



大手門があった中尾口の空堀

とりそえ 取添跡

取添は、「都城」を構成する曲輪^{くるわ}の中で最後に造られた曲輪です。空堀^{どるい}や土塁^{どるい}を直線的に形成する点は、他の曲輪と異なる特徴です。この特徴と『庄内地理志』^{しょうないちりし}の記述により、伊集院氏^{いじゅういん}が「都城」に入っていた文禄4^{ぶんろく}（1595）年から慶長5^{けいちょう}（1600）年に取添が造られたと考えられています。

発掘調査では、土を削り残して造った土塁や、深さ約6.5mの空堀と堀の底に形成された道路跡などが見つかりました。



空堀の底に作られた道路の跡



土を削り残して造った土塁

今回の企画展では、これまでの発掘調査成果を交えて、今年で築城650年を迎える「都城」^{ちくじょう}や都城市内に残る色々なお城を中心に紹介します。



Map of Miyazaki City showing the location of Miyazaki City Historical Museum (都城歴史資料館) marked with a star. The map includes major roads like R269 and R10, the Miyazaki Expressway (宮崎自動車道), and the Miyazaki Bay Bridge (大淀川). Key landmarks such as Miyazaki City Station (都城駅), Miyazaki City Hall (市役所), and Miyazaki City Museum (文化財課(埋文センター)) are also shown. A compass rose indicates North (N).

检索 🔍

主な展示資料

章	遺跡名/資料名	備考	所蔵
一	刀(銘:備前国住長船祐定作)	参考展示	都城歴史資料館所蔵
	脇指(銘:日州正次作)	参考展示	都城歴史資料館所蔵
二	鶴喰遺跡/土師器・陶磁器	横市町	都城市
	畑田遺跡/土師器・陶磁器・石製品	横市町	宮崎県埋蔵文化財センター
	松原地区遺跡群/陶磁器類	郡元町	都城市
	上ノ園第2遺跡/陶磁器類	早鈴町	都城市
	加治屋B遺跡/陶磁器類	南横市町	都城市
	上大五郎遺跡/陶磁器類	丸谷町	都城市
	柵田第1遺跡/陶磁器類・土師器・土製品	高城町	都城市
	郡元西原遺跡/土師器・陶磁器類	郡元町	都城市
	並木添遺跡/土師器・陶磁器類・石製品	高木町	都城市
	大島畠田遺跡/土師器・陶磁器類	金田町	都城市
三	薩摩迫館跡/陶磁器類	山田町	都城市
四	金石城跡/陶磁器類	庄内町	都城市
	都城跡(本丸跡)/陶磁器類・銅製品・土師器	都島町	都城市
五	都城跡(本丸跡)/陶磁器類・鉄製品・瓦	都島町	都城市
	都城跡(中之城跡)/陶磁器類	都島町	都城市
	都城跡(池之上城跡)/陶磁器類	都島町	都城市
	都城跡(西城跡)/銅製品・担当・陶磁器類	都島町	都城市/宮崎県埋蔵文化財センター
	都城跡(中尾之城)/陶磁器類	南鷹尾	都城市
	都城跡(取添)/陶磁器類	都島町	都城市
六	中町遺跡/陶磁器類	中町	都城市